No.153
令和８年11月19日

議会だより 松崎

「池代川の紅葉」

《主な内容》

第３回定例会（９月２日～９月９日）

令和７年度決算審議……2
令和８年度補正予算……5
賛否状況、請願関係ほか……6
町政を問う　一般質問に７議員……7

the most beautiful villages in japan

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

議会だより、定例会一般質問動画は松崎町議会ホームページでも視聴可能です。

令和８年第３回定例会

令和８年第３回定例会が、９月２日から９日までの５日間で開催されました。

報告２件、条例１件、補正予算４件、令和７年度決算認定10件、その他10件の議案について、慎重な審議を行いました。

令和７年度 一般会計 決算審議

歳入総額は、44億7374万６千円。

歳出総額は、42億7970万６千円。

翌年度へ繰り越すべき財源は、8283万６千円。

実質収支額は、１億1120万４千円の黒字決算となった。

歳　入

問　県補助金の自主運行バス事業費補助金の件で、昨年雲見線を１便減らしているが、人口減少により、今後どうなると予想しているのか。

答　**企画観光課長**　利用者が減少し、運営が厳しくなることが予想される。新たな公共交通手段などを含めた自主運行を検討していく。

問　特別地方交付税は、全国的に災害が多発したことが要因となり、要望額より少なくなるという傾向はあるのか。

答　**総務課長**　災害などで減少する傾向はある。

問　交流拠点使用料は、事業費などとのバランスが悪いため、使用料の再検討を１年前に提案したが、その検討結果は。

答　**企画観光課長**「とーふや」「浜丁」の交流施設は、コロナ時に使用を考えて整備した。使用料は検討を継続している。

問　大沢温泉依田之庄入浴料は、物価高騰や光熱費などを考えると、ある程度は料金に転嫁しても致し方ないと考えるが。

答　**企画観光課長**　町としても値上げは必要と考えており、検討している。

問　入湯税の件で、見直しについて、どのような検討がされているのか。

答　**企画観光課長**　伊豆半島でも多くの市町が観光費を賄うため増額しており、松崎町でも財源を生み出すために必要。

歳　出

問　ごみ減量化対策は、重要なことだと思うが、毎年申請が少ない。事業を見直しできないか。

答　**生活環境課長**　コンポストなどの購入助成はご指摘の通りで、見直しを検討している。

問　ふるさと納税推進事業費は、支出額の半分以上を積立金にする必要があるのでは。

答　**企画観光課長**　こちらで支出している給料の会計年度任用職員は、別業務も担当するため業務により按分すると制度上の問題はありません。

問　ふるさと納税推進事業費について、システム手数料などの経費や返礼率の見直しは。

答　**企画観光課長**　システム手数料は、国の方でも業者に呼びかけている。返礼率についても、これまで３割だったが、10月から25％以下にするため、見直しを図っている。

問　広域連携ＳＤＧｓモデル事業負担金の具体的な活動内容は。

答　**町長**　美しい村連合が20周年を迎え、様々な企業の方などと繋がりの強化を図ったが、連合内で広がりきらなかったため、見直している状況。

問　地域おこし協力隊事業費について、予定よりも隊員数が少なく活動できていない部分があるが。

答　**町長**　なかなか集まらない状況があるが、対策して募集していく。

問　財務書類作成業務委託について、職員不足のため、財政計画策定の業務委託も検討しては。

答　**総務課長**　財政計画は、重要な計画と認識しており、早急に検討を進めていく。

問　移住定住推進費の空き家改修等事業４０９万３千円で、何件の改修を助成したのか。また、町内への移住は何件か。

答　企画観光課長　改修は８件、家財処分は３件。空き家バンクなどを通し５組８人が移住した。

問　７年度に繰越をした内沢川の工事を実施しなかった理由は。

答　産業建設課長　関係する用地の所有者の特定が困難だったこと、６年度に応急的な工事を実施済みであったことから、７年度の実施は見送った。

問　観光費の補助金で、松崎町観光協会１４００万円の補助内容と、学生アンバサダーとの連携は。

答　企画観光課長　補助は、人件費が主なもの。学生アンバサダーには、観光協会のＳＮＳと連携した情報発信や花火大会などイベントに参加していただいている。

問　観光費の補助金で、美しい伊豆創造センターの事業内容は。

答　企画観光課長　観光基盤コンテンツの整備など。町内では東海バスの車両に富士山の写真をラッピングするなどの誘客事業や、海外発信など。

問　伊豆西南海岸観光誘客推進協議会などで開発したカレーや極めしは。

答　企画観光課長　ふるさと納税などで活用する。

問　海水浴場監視業務委託の関連で、海水浴客の事故の発生状況は。

答　企画観光課長　海水浴場設置期間前に雲見で死亡事故が1件発生した。

問　海水浴場監視業務委託１３４８万４千円は、３年前に比べて４割近く上昇しているが。

答　企画観光課長　開設期間の短縮も検討中。安全面で日本ライフセービング協会に委託したい。

問　松崎新港利活用誘客業務委託の海釣りＧＯの成果と今後の方針は。

答　企画観光課長　５月から７月に４日間開催し１７３人が参加。料金は２５００円。今後定期的に開催し、補助金に頼らずに運営していく方針。

問　人権尊重やＬＧＢＴＱ＋の推進については、支出がないが、お金を使わず実施した事業は。

答　町長　学校教育の中でも人権などは学習指導要領の中に含まれており、それを補完する形で実施した。生涯学習などで、国県のパンフレットなどを配布している。

問　海洋センター管理費について、正職員がいないことで管理上の問題は発生していないのか。

答　教育長　水泳教室が実施できなくなったことが一番大きなもの。通常の利用者の安全管理は、問題ない。

問　小学校のプール授業をＢ＆Ｇプールへ集約して、最大１億円のＢ＆Ｇ財団助成金を活用し、大規模改修を行えないか。

答　教育長　運営経費でかなり赤字のため、その点を含めて検討する。

問　消防団員が中型免許を取得するための補助は申請がなかったのか。又、中型のポンプ車を使用している分団数は。

答　総務課長　申請がなかった。中型は３地区。

問　電算推進費の基幹系システム標準化・共通化支援業務のメリットは。

答　企画観光課長　自治体ごとに異なるシステムを標準化することで、費用負担が軽減される。



問　道路維持費の関連で、山口雲見線の現在の状況と今後の予定は。

答　産業建設課長　宇治橋架け替え後、進ちょくは見られていない。機会がある都度、県へお願いしてきている。

問　民芸館管理運営費の関係で、松崎高校美術部の展示などに民芸館を利用することはできないか。

答　企画観光課長　貸し出しが受け身になっていたので、これから様々な活用の仕方を検討する。

賛成討論

厳しい財政状況の中で、健全かつ責任ある財政運営であった。災害に強いまちづくりを推進し、共同調理場など教育環境の質の向上にも努めている。適正な予算の執行が行われたと考える。よって本案に賛成する。

令和7年度 特別会計 決算審議

国民健康保険 特別会計

歳入では、国民健康保険税が被保険者数の減少などにより、前年と比べ２４３万円減少している。

歳出では、保険給付費が入院費の減少などにより、前年と比べ６９２２万円減少している。

後期高齢者医療 特別会計

歳入では、後期高齢者医療保険料が被保険者数の増加などにより前年と比べ８２８万円増加。

歳出では、後期高齢者医療広域連合負担金が前年と比べ６５６２万円減少している。

介護保険 特別会計

問 一般介護予防費について、サロンなど男性の参加が低い傾向にあるが、男性が参加しやすいものを実施できないのか。

答 健康福祉課長　令和８年度事業で健康麻雀を開催するなど、男性も参加しやすい取り組みを検討している。

問 居宅介護サービス費や施設介護サービス費は増加している一方、介護予防費が減少している傾向が見られるが、どのように考えているか。

答 健康福祉課長　要支援者数の減少も介護予防費減少の一因であると考えられる。介護サービス費については、重症化の防止や、要介護にならないよう、介護予防事業を実施していきたい。

令和7年度 企業会計 決算審議

水道事業会計

問 管路経年化率が増加しているが、管路更新は。

答 生活環境課長　新設工事になるため管路更新にならないが、一番老朽化している伏倉配水地を優先して実施している。

問 水道事業の国県の補助金が、事業費に対し少なすぎるのでは。

答 生活環境課長　現在国の交付金を申請しているが基本は１／４で、実際の補助額は希望額の７割程度の状況。



温泉事業会計

問 検針の際に連続して動いていない場合は、通知できないのか。

答 生活環境課長　検針員がメーターを全て把握している訳ではないので基本的には難しい。

「伊豆まつざき荘」事業会計

問 事業報告の中で課題に上げている費用対効果の検証が不十分なサービスとは何か。

答 企画観光課長　クーポンなど、検証が不十分だったため、繁忙期には出さなくても良いものがあったと考えている。

問 修繕が必要な法定耐用年数を超えた施設とは何か。エレベーターも入っているのか。

答 企画観光課長　冷凍冷蔵庫やエレベーターなど多数あるが、定期的な点検を継続して実施し、健全な維持管理に努める。

問 ＯＴＡ販売と直販の目標の割合は。

答 企画観光課長　数値的な目標はないが、直販率17・８％を改善する。

問 休憩、食事が減少しているため、７～８月に人員強化できないのか。

答 企画観光課長　人員の確保は難しいが前向きに取り組むよう指導する。

問 赤字の場合、民間であれば、期末手当などの支給はないと思うが。

答 企画観光課長　職員のモチベーションを考え４・39箇月分支給した。

問 ＯＴＡからの脱却の見込みは。

答 企画観光課長　自社サイトが一番お得であることをお知らせしていく。

一般会計補正予算（第２号）

歳入歳出に１億４００８万３千円を増額して補正後の額を47億３３０３万円（３・０％増）とするもの。

問　**物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金６２７７万円は、物価高騰対策プレミアム商品券事業６５００万円に全額充当されたのか。他の事業への充当は検討されているのか。**

答　**企画観光課長**　商品券事業以外では、学校給食費の補助や商工会の事業にも充当した。

問　**プレミアム商品券事業で、過去の再販の際に問題が発生しているが、今回の販売で商工会への指導はしているのか。**

答　**企画観光課長**　今回はプレミア率１００％のため、５千円で１万円分の商品券を購入できることから売れ行きは良いと想定した。消費者支援の目的から、全部を抽選とするのではなく、希望者は必ず２冊までは購入できるようにした。また、商品券の半分は大型店でも使用できるものとした。

問　**里山林整備業務１４００万円の減額は、江奈門野線の支障木伐採事業の実施を延期したということか。**

答　**産業建設課長**　当課では、本年５月より職員が１名減となっており、苦渋の判断であったが、先送り可能な事業については、実施を延期した。

問　**ふじさん駿河湾フェリー存続について、町長としてどのように考えているのか。**

答　**町長**　運営状況にもよるが、存続できるものであれば、存続していただきたい。

問　**松崎中学校屋上防水改修工事３２１２万円の工事内容は。**

答　**教育委員会事務局長**　雨漏り対応のため、屋上にシート防水を行う予定。防水機能は、10年保証されているため、実際はそれ以上の期間で効果が期待できる。

問　**松崎中学校屋上防水改修工事は、西伊豆町との統合や跡地利用などを考慮しているのか。**

答　**教育委員会事務局長**　現在、跡地利用は予定していないが、授業を進めるためすぐに改修を必要としている状況。

問　**地方創生人材支援（派遣）制度負担金３０５万円の詳細は。**

答　**総務課長**　町と静岡大学と一般社団法人みんなのケア情報学会と三者連携協定を締結したが、「地域社会のウェルビーイング向上を図る社会モデル構築」のため、三者の間に入ってもらい事業の調整役や推進役を担っていただく予定。

問　**訪問給食サービス事業委託について、単価を１００円上げて８００円にするということだが、個人負担金も上げたのか。また、負担額を据え置く考えはなかったのか。**

答　**健康福祉課長**　負担率は50％であるため、個人負担金を50円上げて４００円に変更した。



他に国民健康保険特別会計補正予算（第１号）、後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）、介護保険特別会計補正予算（第１号）も認定・可決された。

高校生等の通学費負担軽減および通学環境の整備に関する請願について

この請願は、第２回定例会２日目（令和８年６月10日）に総務常任委員会に付託され、３箇月間継続審議してきた。

委員会での審議では、高校生等の通学費補助は必要ということは、すぐまとまったが、松崎高校存続のための配慮が必要ではないかという意見などもあり、定例会には、「松崎高校存続の配慮を加えることが適当」と意見を付し「採決すべきもの」と報告し、第３回定例会５日目（令和８年９月９日）に全員賛成で、採択された。

この請願の通知書は、採択された当日、署名を添えて、議長から町長へ手渡した。

第３回定例会の概要・賛否状況一覧

議会名	議案番号	件　　名	藤井昭一	菜野良枝	髙橋良延	小林克己	深澤　守	髙柳孝博	藤井　要	議決状況
第３回定例会	議案第38号	**松崎町手数料徴収条例の一部を改正する条例について** コンビニ交付と窓口交付の手数料に差をつけ、窓口業務の負担軽減を図ることや、近隣自治体との手数料の均衡を図ることなどを目的として、一部の手数料について改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第39号	**令和８年度松崎町一般会計補正予算（第２号）について**	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第40号	**令和８年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）について** 歳入歳出に121万１千円を増額して補正後の額を８億5481万２千円とするもの。 主な内容は、本算定により国民健康保険税912万３千円が減収し、国民健康保険事業基金を400万円を取り崩して補填するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第41号	**令和８年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）について** 歳入歳出に879万４千円を増額して補正後の額を１億6,818万円とするもの。 主な内容は、後期高齢者医療保険料本算定によるもので、歳入では後期高齢者医療保険料を712万２千円増額し、歳出では後期高齢者医療広域連合納付金を777万３千円増額するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第42号	**令和８年度松崎町介護保険特別会計補正予算（第１号）について** 歳入歳出に4,513万７千円を増額して補正後の額を10億5,013万７千円とするもの。 主な内容は、繰越金の確定によるもので、歳入では繰越金を4,237万６千円増額し、歳出では、諸支出金を3,352万５千円、予備費を1,064万９千円増額するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第43号	**令和７年度松崎町一般会計歳入歳出決算の認定について**	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第44号	**令和７年度松崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について** 歳入総額８億1,111万４千円、歳出総額８億１万円、歳入歳出差引額1,110万４千円。 主な歳入は、国民健康保険税１億2,892万１千円、県支出金６億1,010万円。 主な歳出は、保険給付費５億6,868万９千円、県納付金１億9,433万５千円。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第45号	**令和７年度松崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について** 歳入総額１億5,049万６千円、歳出総額１億4,984万４千円、歳入歳出差引額65万２千円。 主な歳入は、保険料１億599万２千円、繰入金4,320万８千円。 主な歳出は、後期高齢者医療広域連合への納付金１億4,614万５千円。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第46号	**令和７年度松崎町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について** 歳入総額10億4,405万円、歳出総額10億129万４千円、歳入歳出差引額4,275万６千円。 主な歳入は、介護保険料１億8,049万９千円、国庫支出金２億7,201万８千円、支払基金交付金２億4,339万１千円、県支出金１億3,872万円、繰入金１億4,108万７千円。 主な歳出は、保険給付費８億5,978万７千円。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第47号	**令和７年度松崎町水道事業会計収入支出決算の認定について** 給水戸数3,357戸、年間総有収水量717,099㎥。 総費用１億4,473万６千円。総収益１億8,767万４千円。差引純利益4,293万８千円。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第48号	**令和７年度松崎町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について** 未処分利益剰余金4,294万3,020円の内、1,000万円を減債積立金に、3,290万円を建設改良積立金に積み立て、４万3,020円を翌年度に繰り越すもの。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第49号	**令和７年度松崎町温泉事業会計収入支出決算の認定について** 契約給湯戸数、自家用311戸、営業用30戸、契約供給量2,085ℓ／分。 総費用3,777万９千円。総収益、5,548万３千円。差引純利益1,770万４千円。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第50号	**令和７年度松崎町温泉事業会計未処分利益剰余金の処分について** 未処分利益剰余金1,775万6,507円の内、600万円を利益積立金に、1,170万円を建設改良積立金に積み立て、５万6,507円を翌年度に繰り越すもの。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第51号	**令和７年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計収入支出決算の認定について** 宿泊利用者22,465人、宿泊利用率46.8％。総収益３億4,009万８千円、総費用３億4,727万４千円、収益的収支における純利益△717万５千円、当年度未処理欠損金△２億7,897万７千円。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第52号	**令和７年度松崎町岩地漁業集落排水事業会計収入支出決算の認定について** 施設使用件数111件、年間使用水量21,029㎥。総費用1,159万８千円。総収益1,241万７千円（一般会計から499万７千円繰入）。差引純利益81万９千円。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第53号	**令和７年度松崎町石部農業集落排水事業会計収入支出決算の認定について** 施設使用件数104件、年間使用水量16,420㎥。総費用1,023万３千円。総収益1,073万１千円（一般会計から472万３千円繰入）差引純利益49万８千円。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第54号	**令和７年度松崎町雲見漁業集落排水事業会計収入支出決算の認定について** 施設使用件数123件、年間使用水量42,562㎥。総費用3,420万１千円。総収益3,607万２千円（一般会計から1,111万６千円繰入）差引純利益187万１千円。	○	○	○	○	○	○	○	認　　定
	議案第55号	**公の施設の指定管理者の指定について（農村環境改善センター）** 一般財団法人松崎町振興公社を指定するもの。 指定管理予定期間：令和９年４月１日～令和12年３月31日　年間指定管理料見込額：3,125万円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第56号	**公の施設の指定管理者の指定について（重要文化財岩科学校）** 一般財団法人松崎町振興公社を指定するもの。 指定管理予定期間：令和９年４月１日～令和12年３月31日　年間指定管理料見込額：1,899万８千円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第57号	**公の施設の指定管理者の指定について（伊豆の長八美術館）** 一般財団法人松崎町振興公社を指定するもの。 指定管理予定期間：令和９年４月１日～令和12年３月31日　年間指定管理料見込額：3,511万円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第58号	**公の施設の指定管理者の指定について（道の駅花の三聖苑伊豆松崎）** 一般財団法人松崎町振興公社を指定するもの。 指定管理予定期間：令和９年４月１日～令和12年３月31日　年間指定管理料見込額：3,886万６千円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第59号	**公の施設の指定管理者の指定について（旧依田邸）** 一般財団法人松崎町振興公社を指定するもの。 指定管理予定期間：令和９年４月１日～令和12年３月31日　年間指定管理料見込額：2,331万２千円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第60号	**公の施設の指定管理者の指定について（伊豆まつざき荘）** 一般財団法人松崎町振興公社を指定するもの。 指定管理予定期間：令和９年４月１日～令和12年３月31日　年間指定管理料見込額：４億2,380万円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第61号	**教育委員会委員の任命について** 渡辺攻氏が令和８年９月30日で任期満了となるため、再任するもの。	○	○	○	○	○	○	○	同　　意
	請願第１号	**高校生等の通学費負担軽減および通学環境の整備に関する請願について**	○	○	○	○	○	○	○	採　　択

賛成：○　反対：×　欠席：－

町政を問う
一般質問に7議員



藤井(ふじい)　要(かなめ)　議員

動　画

問　ごみ処理事業の進捗状況は

答　6月議会以降進展なし

問　来年3月までに雲見区とクリーンピア松崎操業の協議を行いたいとのことだが、他市町との調整は6月以降進んでいるのか。

答（町長）
　いろんな可能性を考えつつ、下田市の動向を待っている状況だが、広域連携という国の方針やこれからの人口減少社会などを見極めてしっかりと判断していく。

問　人口が減少し高齢化が進む中、空き家や、草だらけの荒廃地が増えているが、地域の人たちによる環境維持の対応、対策は。

答（町長）
　松崎町は「花とロマンの里」を継承し、環境美化に努めてきた。近年の高齢化の進行や夏場の酷暑などもあり、各地区で柔軟に対応していただくことも必要であり、町民の皆さんと対応を進める。

問　町の施設の管理について、旧小学校や幼稚園の周辺に草が生い茂っている。地域への協力費などで管理できないか。

答（町長）
　草を刈る時期とか範囲の調整、人員不足を補うことからも考えていく必要があると思っている。

問　中学校の統合時期は

答　明示できない状況

問　松崎町、西伊豆町の中学校統合の進捗状況は。

答（教育長）
　令和12年4月の統合を計画していたが、財政負担軽減のための補助金手続きなどで統合時期は明示できない状況である。

問　幼稚園児が9人と少ないが、西伊豆町との連携の考えはあるのか。

答（教育長）
　今現在何人であるからやめるとか存続するとか一切決めていない。

問　高齢化に伴い、地区指定のごみ集積所に自力での持ち込みが困難など日常生活に困り事のある方への支援のため、地域包括支援センターに協議体を設立する話は進んでいるのか。

答（町長）
　住民有志により設立された「ささえあい松崎」の事業開始に向け、協力者が見込めるモデル地区を、令和9年4月から実施予定としている。

問　抜本的土砂浚渫を

答　今年度も浚渫実施

問　松崎旧港には大量の土砂が堆積し船の航行や排水溝が塞がれるなどの問題がある。県に抜本的な対策を要望できないか。

答（町長）
　漁協などの要望により毎年浚渫を行っている。生活排水は緊急対応を必要とするので困ったときには連絡をいただきたい。

賀茂地域の将来人口推計値

単位：人

	2025年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
松崎町	5,230	5,405	4,841	4,290	3,767	3,286	2,840
下田市	17,906	18,369	16,611	14,954	13,376	11,904	10,574
東伊豆	10,217	10,365	9,302	8,281	7,300	6,378	5,575
河津町	6,129	6,336	5,869	5,439	5,033	4,627	4,244
南伊豆	6,997	7,199	6,580	5,986	5,417	4,878	4,410
西伊豆	6,085	6,206	5,403	4,674	3,998	3,392	2,869

※出典
○2025年（着色部）令和7年国勢調査／人口等基本集計より抜粋
○2025年～2050年部分（白色部）
　国立社会保障・人口問題研究所HP　将来推計人口・世帯数より抜粋

松崎町地区・年代別人口資料

単位：人

地区＼年代	0～19	20～64	65～	合　計
松　崎	254	1,201	1,471	2,926
中　川	124	456	609	1,189
岩　科	55	249	387	691
三　浦	38	205	313	556
合　計	471	2,111	2,780	5,362

※出典
○年齢別人口統計表より抜粋
○令和8年度人口集計表9月末（外国人含む）より抜粋

一般質問

問 伊豆まつざき荘の収益管理は
答 レブパー分析も考える



髙柳孝博（たかやなぎたかひろ）議員

動画



より効果的な収益管理を進める
伊豆まつざき荘

問 **伊豆まつざき荘では、利用者数が増加しても、収益に繋がらなかった。ホテルなどの収益力を示すレブパーを活用し、収益を管理していく考えはあるか。**

※レブパーとは、平均客室単価と客室稼働率を組み合わせて、販売可能な客室1室当りの収益性を把握する指標。

答（町長）

収益性の確保と持続可能な施設運営を図る上でレブパーを、経営管理の一つの指標として活用していくことは重要であると認識している。現在も、平均客室単価などを確認し、販売調整を行っているが、今後はこれまでの取り組みに加え、時期や曜日、客層、販売経路による違いについても分析を深め、客室単価と稼働率のバランスを見ながら、より効果的な収益管理に努める。

問 **令和7年度も利用者数が増えても赤字だった。レブパー分析により対策を考え、令和9年度予算に反映する考えはあるか。**

答（町長）

現在の取り組みの効果に加えて、人件費、光熱水費、施設維持費、予約サイト等への販売手数料などの経費も含めて分析し、収支見通しや予算編成にも反映させる。

問 AIの活用状況は
答 専用ツールを導入で

問 **自治体専用ツールであるLoGoチャットの役場内での浸透状況は。**

答（町長）

全職員が日常的に活用しており、伝達漏れやミスの軽減につながり、業務の円滑化と時間短縮に効果を上げている。

問 **LoGoアシスタント導入の考えはあるか。**

答（町長）

業務効率化と行政サービス向上を図るため、既に導入し活用している。ジェミニなどの使用環境を整備し、庁内における生成AIの幅広い活用と浸透を進めている。

問 事前復興計画策定は
答 段階的に進める

問 **大きな災害の場合、復興が進んでも被災地に人が戻らないことがある。町の存続を考える上で、復興への考えをまとめる必要がある。事前に復興計画を策定する考えは。**

答（町長）

大規模災害後の復旧、復興を迅速かつ円滑に進めるために、事前復興計画の取り組みが重要であることは認識している。しかし、事前復興計画は、全国的にもいまだ策定事例が少ないため、国や県の動向や全国事例の調査・研究などを踏まえて、段階的に準備を進める。

問 文化財の保護と活用は
答 町民の皆さんと考える



菜野良枝（さいのよしえ）議員

動画

問 **重要文化財岩科学校の保存や活用のアンケート実施の経緯を伺う。**

答（町長）

岩科地区の区長や文化財関係者より「町民全体の意見を反映し、世代間の視点を尊重するべき」という提言があったため実施した。

問 **アンケート結果の周知の方法は。**

答（町長）

町のホームページや広報誌を活用して広く周知するとともに、地域住民が直接参加できるイベントや意見交換会などを通じて新たな意見や提案を受け付ける。

問 **旧依田邸・依田之庄の管理、運営についての考えは。**

答（町長）

旧依田邸は文化財としての価値を優先して維持・継続する一方、安全性や経済性を鑑みた活用も検討する。

依田之庄は運営コスト最適化を第一としつつ、段階的な運営内容の見直しを進めていく。

問 **旧依田邸に入館料を設定する必要があるのではないか。**

答（企画観光課長）

施設を保存・維持していくためにはそれなりの維持費が必要になるので、展示を整備したうえで、入館料を徴収できるような体制を整えたい。

問 **文化財保護審議会では、諮問に対する答申だけでなく、重文岩科学校、旧依田邸の保存などについても協議する必要があるのではないか。**

答（教育委員会事務局長）

審議委員の意見をいただきながら検討したい。

問 **文化財史料のデジタル化を進める考えは。**

答（教育長）

進めるためには相応の費用が発生するため、事業の優先度を慎重に検討する必要がある。全ての史料を一律にデジタル化するのではなく、必要性や優先順位を決めるため、まずは現在ある史料の整理から取り組みたい。

問 制度設計の進捗は
答 具体的な案の検討中

問 **ふるさと住民登録制度（まつざきふるさとパートナー制度）について、持続可能な運用には、地域住民の理解や協力が欠かせない。どのように周知し、体制を整えていくのか。**

答（町長）

町民の理解と協力が不可欠。分かりやすく丁寧に情報を発信し、学び合い講座や地域の集いの場を通じて制度の趣旨や具体的な取り組みについて説明していく。また、地域おこし協力隊員や地域活性化起業人などをコーディネーターとして配置し、受け入れ体制も整備していく。

問 **近隣市町との連携の考えは。**

答（町長）

前向きに模索したい。



▲イメージ図

問 中学校の雨漏り対策は 答 補正予算で対応



藤井昭一（ふじいあきいち）議員

動画

問 中学校の雨漏りがひどい状況である。どのように対処するのか。

答（教育長）
本定例会へ上程する補正予算に修繕費を計上した。

問 基金の切り崩しで予算をねん出しているが、今後、中学校統合などを見据えた中で、なるべく町のお金を使わずに国県の補助金や各種寄付金（ふるさと納税など）の検討はされたのか。

答（総務課長）
補助金や寄付金などの活用について調査はしたが、該当する制度がなかったため、今回は基金から繰り入れた。

問 中学校の屋上は近隣の方の津波避難場所にも指定されている。多くの方が避難する想定になっているが、このような老朽化した状態で避難場所としての機能を果たしているのか。

答（町長）
中学校は約20年前に耐震補強している。屋上床面の劣化した箇所は、コンクリートの上の防水加工部分のため、修繕前も底は抜けないが歩行に難があるため早急に行う。

問 シンポジウムで何が 答 農業法人の誘致へ

問 シンポジウム「松崎町の力を未来へつなぐ地域イノベーション」が開催され、全国に販売網を持つ大きな農業法人を町に誘致し、町内で365日収穫できるいちご狩りとキノコを栽培していくという話があったが、誘致による町のメリットをどう考えるか。

答（町長）
観光客数の増加や雇用の創出、先端技術の導入と地元農家との知見の共有による地域農業の発展、さらにはふるさと納税の寄付額増加が期待される。

問 避難タワーはどこに 答 津波避難困難区域に

問 町政懇談会で津波避難タワーに関する質問があり、説明会の開催要望があった。いつ頃開催する予定か。

答（総務課長）
現在、説明会に向けて準備を進めており、準備が整い次第、開催する。

問 津波避難タワーは、どういう場所に整備するべきと考えるか。

答（総務課長）
大規模地震の発生時、津波到達までに避難できる高台が近くにないなど、避難が困難となる区域への整備を基本としている。

問 南区の津波避難タワーの建設予定地は、正に整備が必要な場所という認識で間違いないか。

答（総務課長）
そのとおりである。



通年で観光客を呼び込める365日収穫可能な、いちご狩り農園の開設を目指している。



「桜」をイメージさせる淡いピンク色のキノコ「サクラヒラタケ」の栽培。今後、松崎の新しい名物になるか。

問 詰所・避難タワーの併設は

答 お金をかけてまでやるべきでない



小林克己（こばやしかつみ）議員

動画

問 津波避難タワーと消防団詰所の併設は、沿岸部の消防力強化や土地の有効活用において、非常に有効である。町の考えを伺う。

答（町長）

自分も防災士で、被災地支援で何度も津波浸水区域を見てきた経験から詰所などを浸水区域にある避難タワーに併設することは、お金をかけてまでやるべきでなく、逆に津波浸水区域外に持っていくことも、日常的な防火防災の面から、それも適正と言えないと考える。

問 地震発生時における団員の参集出動の安全性に対する町の認識を伺う。

答（町長）

消防団員が「自らの命・家族の命を守る」ことを最優先に、地震・津波発生時に活動するよう、消防団活動安全管理マニュアルを作成し周知している。

問 振興公社で農業を

答 人が足りてない

問 松崎町の農業を振興公社に支えてもらい、耕作者としての協力を考えられないか。

答（町長）

振興公社も今人が足りていない。担い手について、いろいろ考えながら進めていく必要があるとは思っている。

問 5年前作成された「人・農地プラン」の将来の農業のあり方の課題と今回法律化された「地域農業経営基盤強化促進計画」の課題が同じである。この5年間、何をしていたのか。

答（町長）

農業振興会や地域の方々からさまざまな意見を聴取し策定したもので何もしていなかったわけではない。また、地域農業は、人とノウハウと資金が必要である。

問 解体費補助制度の導入は

答 難しい

問 管理不全な空き家の発生抑制を図るため、解体費補助制度の導入は。

答（町長）

特定空き家対策などの対応状況や実態を踏まえると難しい。町がやるべきことは、所有者に空き家になる前の対策の働きかけや、空き家になってからも住める状況のまま所有権移転もしくは賃貸に移すことを推奨する。

問 雲見地内の危険建築物は、静岡県が対応するとのことだったが、これまでの対応状況と今後の措置は。

答（町長）

昨年末、県くらし・環境部長に「建築基準法」に基づく、指導・助言・勧告・是正命令などの措置を、特定行政庁として、適切に講じるよう強く要望した。県は現地確認や国との協議を行っており、今後の措置について検討中と聞いている。



▲津波浸水区域内にある消防団詰所

一般質問

問 災害時用備蓄の確保状況は
答 町全体の公的備蓄で４日程度



髙橋（たかはし）良延（よしのぶ）議員

動画

問 災害時の孤立における最大の懸念は、情報の遮断である。孤立想定地区（岩地・石部・雲見・八木山・池代・小杉原・門野）の情報手段と訓練状況は万全か。

答（町長）

孤立想定地区へは、デジタル簡易無線や衛星携帯電話など複数の通信手段を準備している。年３回の防災訓練の他、定期的に衛星携帯電話の操作訓練も行っている。

問 町は孤立想定地区の７日間の備蓄１００％を目標としているが、必要量をしっかりと把握し、確保すべきではないか。

答（町長）

現在、町全体の公的備蓄として約４日程度の生活・衛生用品の備蓄をし、計画的に毎年更新している。現地で対応できるよう町内各地の防災倉庫への分散配置もしている。

問 避難行動要支援者の個別避難計画の作成状況と訓練への活用は。

答（町長）

要支援者名簿５４７人の内、２１９人の個別避難計画を作成。要支援者が避難場所に行けるよう、自主防・民生委員の方々と連携した訓練を検討する。

問 美しい村の取り組みは
答 町民の機運を高める

問 やろうじゃ協議会も解散し、美しい村推進委員会も３年余開催されていない。美しい村の取り組みを町民にどのように周知・展開しているのか。幅広い人の意見を聞く場を、どう考えているのか。

答（町長）

町では、ホームページや広報誌で情報発信しているが、町民主体の活動停滞が課題である。積極的に地域づくりに参加できる仕組みを整備し、機運を高める取り組みを進めていく。意見を聞く場はつくっていかなければと考えている。

問 景観審議会を設置して５年間１回も開催されず、これまで議会で明言された景観審議会によるまつざき景観資産の認定はどうなったのか。

答（企画観光課長）

審議会が開催されていないのは事実であり、今年度中に開催する。

問 町営観光施設の今後は
答 経営指標により判断

問 町営観光施設は、振興公社と町が協力して運営することが一番良い方法としている一方、今後の経営状況により運営を判断するとしたが、その数値基準や指標はあるか。

答（町長）

主な指標として収支状況や利用者数の推移、満足度などがある。また、老朽化対応の進捗状況、施設稼働率や収益性なども評価指標とする。

問 公の施設の採算性だけでは測れない歴史文化の継承、住民の交流、雇用の創出などの価値をどう評価しているのか。

答（町長）

長期的な視点で施設の意義を評価し、未来に資する形で存続を図りたい。



▲依田之庄の今後は

問 幸福度指数を上げるには
答 町民が主体的に関わる



深澤守（ふかさわまもる）議員

動　画



▲ウェルビーイングイメージ図

問　町民幸福度は、町民一人ひとりがさまざまな価値観において得るもので、行政の手助けも必要であるが、町民自身が、自己の幸福に向けて進むことも必要と考えるが、町長の考えを伺う。

答（町長）

町民一人ひとりの幸福は、多様な価値観によって築かれるものであり、自己の幸福に向けた主体的な営みは不可欠と思う。

町は「きょうどう」を、まちづくりの推進力とし町民力、地域力、行政力を連携させ、互いに支え合い、力を合わせることで地域全体のウェルビーイングを高め、お互いに助け合うコンパッションタウンの実現を目指す。

問　ウェルビーイングとはWHOの定義において、「肉体的精神的及び社会的に完全に良好な状態」とあるが、「完全に良好な状態」を得られるための町の施策を伺う。

答（町長）

完全に良好な状態は、「きょうどう」の理念、町民と行政がともに力を合わせることが理想。

肉体的側面では、予防医療を充実させ、地域で健康作りなどを住民同士がともに取り組める環境を整備していく。

精神的側面では、心の健康を育む、きめ細やかなサポート体制を構築し、多世代が交流し、支え合う精神的な豊かさを感じられる社会を目指す。

社会的側面では、多世代交流の場が核となり、ボランティア活動の促進、地域課題を「きょうどう」で解決する場を設けることで、誰もが、居場所と役割を持てる社会の実現を目指す。

これらの施策を、行政だけではなく町民皆様の町民力を最大限引き出しながら推進して、全ての町民が心身ともに満たされる「完全に良好な状態」を、ともに目指していく。

問 避難所マニュアルは
答 改定を検討

問　ウェルビーイングの視点から熊本地震の状況を考査して、避難所運営の計画を洗い直す考えは。

答（町長）

命を守るだけではなく、避難所生活での健康や生活の質、心のケア、つながりの維持などを確保することは、とても重要と考えている。

熊本地震の避難所では、断水や、エアコンが使えない箇所が多く、車中泊などを選んだケースがあり、避難所以外の避難者数の把握ができず、十分な支援が行き届かない場合があるとのことだった。

松崎町では平成26年に避難所運営マニュアルを策定したが、社会情勢も変化しており、より円滑にいくようマニュアルの改訂を検討している。

一般質問

この人に聞きました㊿

㈲カマラード　新鮮組
土田（つちだ）加代子（かよこ）さん



土田加代子さん（中央）

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、就労継続支援B型事業所「新鮮組」を運営している土田加代子さんにお話を伺いました。

○活動の内容について教えてください。

新鮮組（就労継続支援B型事業所）は障がいのある方など一般就労が困難な方向けの清掃や農作業を含めた軽作業など、無理のない環境で働ける場を提供し、就労の支援を行っています。

○課題や今後の活動は。

町民の方から任せていただける仕事を募集しています。庭の草刈りなどもいたします。他に高齢化に伴い継続が難しくなってきた作業などを教わりながら地域の技術と仕事を守るため、利用者と共に学び、継承していけたらと考えています。併せて利用者や協力者の募集もしています。

○町への要望はありますか。

今年4月に始まったばかりの事業所で、あまり周知が出来ていません。そのため、松崎町内にこのような事業所ができたことについて周知に協力してほしいです。

毎週水曜日に見学・体験を受け付けているため、興味がある方は、ぜひご連絡ください。電話番号0558-36-3830

（聞き手　編集委員長）

次の定例会は、12月2日（水）からの予定です。

議会のうごき

7月

15日	広報編集委員会
22日	伊豆縦貫道自動車道建設促進期成同盟会等令和8年度合同促進大会（東京都）
23日	広報編集委員会 賀茂郡町議会議長会議（松崎町）
27日	市町議会議員研修会（静岡市）

8月

6日	議会だより第152号発行
17日	議会全員協議会
20日	下田メディカルセンター議会定例会 下田地区消防組合議会定例会
25日	重要問題懇談会 議会運営委員会 広報編集委員会 総務常任特別委員会

9月

2日～9日	第3回定例会
16日	静岡県町村議会議長会総会

表紙の写真「池代川の紅葉」は文化協会写真部より提供。

発行責任者
議長　田中道源

編集委員長
髙柳孝博

編集委員
藤井昭一
菜野良枝
髙橋良延
小林克己
深澤守
藤井要

海鳴り

10月9日、本町で初となる「こども未来議会」が開催されました。

議場で堂々と質問に立つ松崎中学三年生の真摯で、郷土を想う熱意あふれる姿勢に深く感銘を受け、松崎町の将来に大きな希望を持つことができました。

円滑な開催にご尽力いただいた先生方をはじめ、町当局、そして議員各位の多大なご協力に対し、心より感謝申し上げます。

何事も挑戦することが大切です。若い世代の熱意に刺激を受け、私たちも町の未来に向け、今後も挑戦し続けてまいります。

町民の皆様におかれましては、今後の議会運営につきましても、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（議長）